

学特 1_解答解説

[解答]

- 1 (1) ① (2) ③ (3) ② (4) ③ (5) ⑤ (6) ④
2 (1) ① (2) ④ (3) ⑤ (4) ①⑤ (5) ③
3 (1) $\frac{4}{25}$ (2) $\frac{3}{25}$ (3) $\frac{1}{5}$
4 (1) $y=\frac{1}{2}x+2$ (2) 60 (3) (6, 15)
5 (1) 1:2 (2) 1:3 (3) 48:5
6 (1) $66(\text{cm}^3)$ (2) $\frac{16}{3}(\text{cm})$ (3) $4(\text{cm})$

[配点]

- 1 3点×6=18点
2 (1)~(3) 4点×3=12点
(4), (5) 5点×2=10点
3~6 5点×3問×4題=60点
計 100点

[略解]

- 1 (4) $(2x-3y)^2-(x-y)^2=A^2-B^2=(A+B)(A-B)=(3x-4y)(x-2y)$
(5) $4\sqrt{6}(\frac{\sqrt{2}}{2}-2\sqrt{3})=4\sqrt{6}\times\frac{\sqrt{2}}{2}-4\sqrt{6}\times2\sqrt{3}=4\sqrt{3}-24\sqrt{2}$
- 2 (1) $x=2$ のとき $y=2^2=4$, $x=0$ のとき, $y=0$ より, y の変域は, $0\leq y\leq 4$
(2) $\angle x=180^\circ-\{540^\circ-(130^\circ+120^\circ+85^\circ+125^\circ)\}=100^\circ$
(3) 円柱の容器の体積は, $\pi\times 5^2\times 6=150\pi\text{cm}^3$
空になるのに x 分かかったとすると, $150\pi-3\pi x=0$, $x=50$
- (4) ①○ 最頻値は, もっとも度数の多い階級の階級値だから, $(30+40)\div 2=35(\text{分})$
②× 中央値は度数分布表から求めることはできない。
③× $(1+7)\div 50=0.16$
④×
⑤○ 40分以上の人の割合は, $(3+2)\div 50\times 100=10(\%)$
- (5) 1から n までの整数の和を 2 つたし合わせると, $(n+1)\times n$
よって, n 番目の図形の黒い正三角形の個数は, $\frac{n(n+1)}{2}$ 個

学特 1_解答解説

- 3 (1) すべての玉の取り出し方は、 $5 \times 5 = 25$ (通り)
 $(a, b) = (1, 9), (2, 8), (3, 7), (4, 6)$ の4通りだから、求める確率は、 $\frac{4}{25}$
- (2) \sqrt{ab} が整数となるのは、 $(a, b) = (1, 9), (2, 8), (4, 9)$ の3通り 求める確率は、 $\frac{3}{25}$
- (3) $\frac{b}{b-a}$ が整数となればよい。
 $(a, b) = (3, 6), (4, 6), (4, 8), (5, 6), (5, 10)$ の5通りだから、求める確率は、 $\frac{1}{5}$
- 4 (1) $A(4, 4), B(-2, 1)$ より、 $y = \frac{1}{2}x + 2$
- (2) 直線 CD は傾き $\frac{1}{2}$ 、点 $C(-6, 9)$ を通る直線だから、式は、 $y = \frac{1}{2}x + 12$
 $\triangle BAP$ の面積は、 $\frac{1}{2} \times (12 - 2) \times 6 = 30$
よって、四角形 $BADP$ の面積は、 $30 \times 2 = 60$
- (3) y 軸の $y \geq 0$ の部分に点 Q を $\triangle OAQ = 18$ となるようにとると、 $Q(0, 9)$
点 Q を通り直線 OA に平行な直線の式は、 $y = x + 9$
この直線と直線 CD との交点を求めて、 $P(6, 15)$
- 5 (1) 中点連結定理から、 $MF = \frac{1}{2}AO$
 $MF : OC = MF : AO = 1 : 2$
- (2) $\triangle AEM \sim \triangle CEB$ より、 $AE = \frac{1}{3}AC$
 $EO = AO - AE = \frac{1}{2}AC - \frac{1}{3}AC = \frac{1}{6}AC$
 $\triangle BOE : \triangle COD = EO : CO = \frac{1}{6}AC : \frac{1}{2}AC = 1 : 3$
- (3) $\triangle COD = \frac{1}{4} \square ABCD$
(2)より、 $\triangle BOE = \frac{1}{3} \triangle COD = \frac{1}{3} \times \frac{1}{4} \square ABCD = \frac{1}{12} \square ABCD$
 $BO : BF = 2 : 3$
 $\triangle BOE \sim \triangle BFM$ だから、 $\triangle BOE : \triangle BFM = 2^2 : 3^2 = 4 : 9$
四角形 $EOFM = \frac{9-4}{4} \triangle BOE = \frac{5}{4} \times \frac{1}{12} \square ABCD = \frac{5}{48} \square ABCD$
- 6 (1) 直方体 $ABCD - EFGH$ の体積は、 $3 \times 3 \times 8 = 72(\text{cm}^3)$
立体 X の体積は、 $\frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 3 \times 3 \times 4 = 6(\text{cm}^3)$
よって、立体 Y の体積は、 $72 - 6 = 66(\text{cm}^3)$
- (2) $AP = t \text{cm}$ とする。
立体 X の体積は、 $\frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 3 \times 3 \times t = \frac{3}{2}t(\text{cm}^3)$
立体 Y の体積は、 $72 - \frac{3}{2}t(\text{cm}^3)$
よって、 $1 : 8 = \frac{3}{2}t : (72 - \frac{3}{2}t)$ より、 $72 - \frac{3}{2}t = \frac{24}{2}t$ $\frac{27}{2}t = 72$ $t = \frac{16}{3} \text{cm}$
- (3) $AP = t \text{cm}$ とする。
表面積の差は、 $3 \times 3 + 8 \times 3 \times 4 - \frac{1}{2} \times 3 \times t \times 2 - \frac{1}{2} \times 3 \times t \times 2 = 9 + 96 - 6t = 105 - 6t(\text{cm}^2)$
よって、 $105 - 6t = 81$ より、 $t = 4 \text{cm}$